学ぶ力と意欲を備え、ともに高め合う教育の創造

学校だより

自立・敬愛・創造

令和２．９．１５

朝来市立和田山中学校 http://www.asago-city.ed.jp/wadayama-jhs

体育大会「四色結び」の和衷協同、和志成願・和志強絆！

９月９日の体育大会では、新型コロナウィルス感染症対策のため無観客となりましたが、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

当日は、絶好の天気となり、生徒たちは各競技に全力で取り組んでいました。

本年度の体育大会は、神戸新聞の記事にもありますように、無観客、「３密」を避ける新たな体育大会を創り上げることに、生徒会が案を作り、３年生のリーダーたちが試行錯誤しながら取り組んでくれました。新しい文化を創ることは相当な努力と苦労がありますが、それを乗り越えてきた力は、学校を動かし、お互いの絆を深く強くしてくれたことでしょう。素晴らしい体育大会になったことを讃え、生徒皆さんが自信の持てる１日になったことに感謝します。

2020.9.10付
神戸新聞より

例年は保護者のテントが並ぶ場所はぽっかりと空いていた＝いずれも和田山中

安全な体育祭 生徒ら模索

和田山中、コロナ対策万全に

無観客、間隔空け競技

朝来

朝来市和田山町柳原の和田山中学校で9日、体育大会が開かれた。新型コロナウイルス感染拡大を受け、平日に無観客で実施。全校生約400人が練習の成果を発揮しようと懸命に駆け回り、エールを送り合う声がグラウンドに響いた。

競技で「3密」を避けるように市教育委員会が各校に指示。同校では1学期から、生徒会役員が教員と話し合いを続けてきた。

同時に競技する人数を減らし、生徒同士の距離を取って行われた綱引き

時間を短縮するため徒競走を取りやめ、学年ごとのリレーに変更。2年男子の綱引きでは生徒を2班に分けて一度の競技人数を減らし、間隔を空けて綱を引くように工夫した。

赤、黄、青、緑の4団に分かれて全員が参加する演舞は、ひな壇上に並ぶ例年の形式を改め、グラウンド全体に広がるダンスに変更。アニメ音楽に合わせたダンスで最優秀賞に導いた黄団団長の和田慶斗さん(15)は「昨年までとの違いは気にせず、気持ちを切り替えた」と振り返った。

生徒会長の竹村海翔さん(15)は「制限が多い中、どうすれば全員が楽しめるかを一番考えた。開催できるのかという不安から始まったが、思い出に残る体育大会になったと思う」とほっとした表情で話した。

同市の小中学校13校は、和田山中を皮切りに10月までに運動会や体育祭を予定しており、市ケーブルテレビが全校分を撮影して順次放送するという。

（竜門和諒）

和の志をもって、願いを成す

団旗の部　金賞　赤団・黄団

例年のバックの絵の代わりに、旗で各団のシンボルを作成しました。どの団も丁寧に作成しており、例年と変わらず迫力のある良いものができあがりました。

- 赤団は動きのある力強さと、様々な赤色を使い巧みさ感じました。
- 緑団は伝統的な和の美しさと、文字が風を感じさせました。
- 青団は波に飛び出すｼｬﾁの生き生きとした姿を感じました。
- 黄団は静けさの中にも、絵に陰影があり躍動感を感じました。

表現の部　優勝　黄団　準優勝　緑団

４団それぞれが工夫を凝らし、タイトルの「和志成願」のごとく、和中の「和」の「志」をもって、「願い」を「成す」これからの伝統となる記念すべき表現であったと思います。

赤団

黄団

青団

緑団

競技の部　優勝　青団　準優勝　赤団

すべての競技に全力で挑戦し、勝敗は分かれても清々しさと充実感があふれていました。

チームワークの部　優勝　赤団　準優勝　緑団

予演会がなく、グラウンドで全団揃っていきなり本番でしたが、各団ごとの練習でリーダーが声をかけてくれたおかげで、初めてとは思えない素晴らしい行進でした。

生活得点の部　最優秀賞　3年2組　　1位　1年4組　2年3組

生徒会（専門委員会）を中心に、自分たちの力で生活習慣や集団生活をより良くするために取り組みました。これからも継続してより良い和中をつくりましょう。